

弥生時代の学習

(1) 学習のねらい

身近な地域の弥生遺跡を知り、当時の人々の生活を考える活動を通して、地域への関心を高め、地域の具体的な事柄との関わりの中で日本の歴史を理解する。

さいたま市の弥生遺跡から、縄文時代との生活の変化を考え、稲作の始まり・村同士の争い・貧富の差の拡大など、社会が大きく変化していったことを理解する。

(2) 展開

	学習活動・学習内容	・指導上の留意点 評価	資料
導入	<ul style="list-style-type: none"> ・弥生土器の破片を触り、(教室の四隅)この土器が作られた時代について、既得の知識を発表し合う。 ・前時で学習した縄文土器との違いをも発表する。 ・弥生時代の名前の由来を、映像を使いながら説明する。→ 「文京区弥生町」 ・本時のテーマに対する予想を、各自たてる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・弥生土器の破片は、さいたま市立博物館から借りてくる。 ・多くの生徒にテンポ良く発表させる。 積極的に予想をたて、それを検証しようという、意欲的な学習態度が見られるか。 	弥生土器の破片 【映像】 弥生町、 東京大学
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: 80%;"> <p>弥生時代の人々は、どんな生活をしていたのか？ ~ 現代に生きる私達との共通点は？ 縄文時代との違いは？ ~</p> </div>			
展開	<ul style="list-style-type: none"> ・前時でも扱った、さいたま市の遺跡地図を使い、弥生時代の遺跡に印をつける。 ・遺跡分布図を見て、わかったことをノートに書き、発表する。 例 台地上だけでなく、低地にも遺跡がある。(低湿地に臨む微高地や自然堤防上にもある。) 発 『低地にも人が住むようになったのはなぜか？』その理由を予想させる。 例 海から低地に変わり、人が住めるようになった。低地で米作りが始まった。 <p>【考察1】<生活編></p> <ul style="list-style-type: none"> ・「三崎台遺跡」「本村遺跡」の出土品を写真、映像、黒板の資料から知り、ノートに書く。 ・「三崎台遺跡」「本村遺跡」の位置を遺跡地図上で確認する。→ 本村遺跡は10㍍以下にあることに気付く。 ・出土品それぞれがどのように、何のために使われたものか、当時の人々の生活を考え、ノートにまとめ、発表する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各自でたてた予想が正しいかどうか、さいたま市の資料を中心を使って、検証する授業を展開する。授業に明確な目的を持たせる。 ・あらかじめ、地図には弥生時代遺跡の場所を示しておく。 ・さいたま市では水田跡が見つかっていないこと、稲作が始まったとはいえ、米は全食料の10%に過ぎず、稗や粟などの雑穀を植えたり、依然採集生活が続いていたことを説明する。 ・発表を「<input type="text"/>」の出土品から、これが<input type="text"/>に使われ、<input type="text"/>のような生活を送っていた 	さいたま市遺跡地図 【映像】 三崎台遺跡・本村遺跡・井沼方遺跡

<p>三崎台遺跡...竪穴住居跡、弥生土器、石器、 本村遺跡...甌（こしき）、台付甕型土器 → 米を調理 稲作の始まり</p>	<p>と思われます。」と論理的 に行わせる。</p>	<p>【映像】 登呂遺跡 板付遺跡</p>
<p>・ 埼玉県最古の水田跡「熊谷北島遺跡」、静岡県 登呂遺跡、福岡県板付遺跡の映像から、米作りの様 子を考える。</p>	<p>発表を聞き、わかったこと を自分の言葉でまとめ、さ らに学習を深めるための疑 問を持つことができたか。 (理解・技能)</p>	
<p>【考察2】 <社会編></p>	<p>・ 埼玉県にも弥生中期の水田 跡があることを知らせ、古 代の水田の様子を見させる。</p>	
<p>・ 「三崎台遺跡」「井沼方遺跡」の出土品を写真、映 像、黒板の資料から知り、ノートにまとめる。 ・ 「井沼方遺跡」の位置を遺跡地図上で確認する。 ・ それぞれがどのように、何のために使われたものか、 当時の社会の様子を考え、ノートに書き、発表する。</p>	<p>・ 三崎台遺跡出土の銅鏡は、 弥生時代の銅鏡としては、 最も東のものである、こと を説明する。</p>	
<p>三崎台遺跡...銅鏡 → 宝物 誰の？ 井沼方遺跡...環濠集落跡 → 村どおしの争い 方形周溝墓、鉄剣、ガラス玉 → 身分の高い人、身分の違い、装飾品</p>	<p>・ 社会の様子では、村に支配 者が生まれてきたことを理 解させる。</p>	
<p>・ 遺構、遺物から「弥生時代はどんな社会であったの か？」考え、班で話し合い、発表する。</p>	<p>・ 銅鏡から次時学習する、邪 馬台国について簡単に触れる。</p>	<p>【映像】 吉野ヶ里 遺跡</p>
<p>ま と め ・ 教科書の弥生時代を描いた絵、吉野ヶ里遺跡の様子 を確認し、さいたま市の遺跡との比較をする。 ・ 『弥生時代の人々はどのような生活をしていたの か？』の問いに対し、「縄文時代との違いは？ 現代に生きる私達の生活との共通点は？」という視 点を内容に入れ、自分の言葉でまとめる。</p>	<p>本時のテーマに対し、様々 な視点から多面的に考察で き、自分の言葉で考えを書 くことができたか。 (思考・表現)</p>	<p>遺跡資料</p>



(3) 訪問先及び資料の入手先 さいたま市立博物館、三崎台遺跡（見沼区）

本村遺跡（桜区）→ 埼玉大学構内、 埼玉大学高久研究室、井沼方遺跡（緑区）

浦和博物館、熊谷北島遺跡、登呂遺跡（静岡県）、板付遺跡（福岡県）、

吉野ヶ里遺跡（佐賀県） など

【弥生時代の資料映像】

井沼方遺跡

方形周溝墓



出土品の鉄剣



三崎台遺跡

現在、くらし安心館



発掘の様子



熊谷北島遺跡（弥生中期）



登呂遺跡



高床式倉庫

板付遺跡



村の様子



木製農具

吉野ヶ里遺跡



村の様子

本村遺跡（埼玉大学構内）



初級剥離痕跡



本村遺跡の資料は、高久研究室所蔵のもの